水害危険情報図

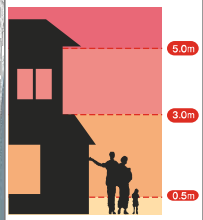
帆引川

凡例
- 指定一般避難所
- 指定緊急避難場所
- 指定福祉避難所
- 医療機関
- 要配慮者利用施設

縮尺 1/11,000
0 500m

1 説明文
（1）この水害危険情報図は、木曽川水系帆引川（県が管理する区間について、水防法に基づき洪水予報河川及び水防警報河川ではありませんが、想定し得る最大規模の降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
（2）この図は、仮設堤防の無い帆引川の河道形状を基礎として、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により帆引川が氾濫した場合の浸水の状況を簡易的なシミュレーションにより予測したものです。
（3）ただし、この簡易的なシミュレーションの実施にあたっては、以下の①～③のシミュレーションの前提となる降雨を前提条件の簡略により設定、雨量以下内水による浸水影響を考慮していませんので、この図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
2 基本事項等
（1）作成主体　　岐阜県県土整備部河川課
（2）作成年月日　　平成 31 年 3 月
（3）対象となる河川
・木曽川水系帆引川
（河川区間）
左岸：海津市海津町高須新田字七号 1556 番地先から揖斐川合流点まで
右岸：海　市海　町帆　　字向　1558 番の 1 地先から揖斐川合流点まで
（4）前提となる降雨　洪水浸透情報 (ID 77 51) の設計雨量
　　想定最大降雨（降雨量 99mm）
　　降雨開始 1 時間あたりに換算すると 220mm/h
（5）関係市町村　海津市
（6）その他計算条件等
①この図は、木曽川水系帆引川の県が管理する区間で、簡易的な手法により越水又は溢水した場合の浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
②この図は、帆引川の上記（3）に掲げた区間において氾濫解析計算結果を基に作成したものです。
③洪海市計算では、支川の氾濫による影響、排水機等ない内水処理施設等の効果は評価していません。
④洪海市計算は対象区間を 1m 間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを 1 単位として水深を計算しているため、現地による影響が反映できない場合があります。
⑤この図は、氾濫解析計算結果から計算メッシュごとの想定浸水深を同じ、その結果を表示しています。
⑥洪海の形成は、平成 16 年度から平成 29 年度に実施した実空レーザ測量データを使用して作成しており、その特性上水面下の地形が反映できない川や、標準や国道施設等を含む、評価できない場合があるため、浸水が発生される区域、浸水した場合に想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水した場合に想定される水深



- 10.0～20.0m 未満の区域
- 5.0～10.0m 未満の区域
- 3.0～5.0m 未満の区域
- 0.5～3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域

【禁無断複製】©2023 ZENRIN CO., LTD.